

# ドローン 見事に操縦

## 崇城大コンテスト 20人が腕競う



ドローン操縦コンテストの「ミッション遂行競技」に挑む学生ら＝熊本市西区

崇城大の小型無人機「ドローン」操縦コンテストが9日、熊本市西区の池田キャンパスであり、学生らがテクニックを駆使して機体を飛行させた。

ドローンの面白さに触れ、ものづくりに興味を持ってもらおうと毎年開催している。

学生や高校生ら9チーム約20人が出場。自作または市販品を改良したドローンを使って、機体の俊敏性を競う「タイムレース競技」と、操作の正確さが必

要な「ミッション遂行競技」に挑んだ。

参加者は約1・5日間隔のポール8本の間をジグザグに飛行させたり、インスタントライメンの袋を所定の位置に運んだり、見事に機体をコントロールしていた。

優勝した「もやし隊」の福井創太さん(17)は「文徳高2年」は「竹ひごで作った機体など、驚くようなアイデアもあって勉強になった。緊張で指が震えたが、優勝できてよかった」と笑顔だった。

(白杵大介)